第１回トラック輸送における取引環境・
労働時間改善岡山県地方協議会ワーキンググループ《概要》

平成 29 年 1 月 27 日(金) 14:00～16:00
岡山県トラック総合研修会館「202 研修室」

（議題）平成２９年度パイロット事業の対象集団に求められるものについて

【パイロット事業の難易性】
○短期間で大きな成果を上げるのは難しい。
○改善モデルを作る事業であれば対象集団にパワーと覚悟が必要。
○三者一体が好ましい。一方、運賃負担は発荷主であることから、着荷主を巻き込むのは困難という側面も

【荷主・運送事業者の抱える現状と課題】
○年度末等の取引量増加時や増産体制に伴う輸送需要に対するドライバー不足
○ドライバーによるばら積み卸し と それに対する敬遠傾向
○ドライバー手卸しの商習慣変更を要す
○積み卸し専門要員の確保
○帰り荷対策・空車回避の工夫
○定時配送の困難性
○時間制約に伴う輸送車両の非効率な手配
○荷主サイドの改善基準告示の認知度の低さ
○発荷主による行程把握の必要性
○荷主現場の改善のみならず、出庫～帰庫までの全行程の管理を要す
○一部の運送事業者は行程の細かな実態未把握のケースも
○一般消費者へ直結する産業の理解を要す
○長距離運送時の荷卸し時間指定による休息期間確保の困難性
○多様な着荷主に対する個別対応
○改善基準違反や不採算運送を拒否するケースもあり
○運賃落ち込みによるドライバー処遇改善の困難性
○運賃改定申し込みに対する荷主の厳しい対応
○改善が進むことによるネガティブな影響の懸念

【提案】

○協議会が現場に出て、直接様々な業界に対し取組を説明・理解を促す

○今年度のパイロット事業は県東部だったので、来年度は県南・県西という考え方もあり

○問屋・卸センター等が絡むものがよいのではないか

○今年度終了するパイロット事業について、関係者の協力が得られれば、次年度は報告という形でフォローできないか

【事務局まとめ】

○いただい意見を整理し、来年度の取組の方向性を示したい。

○協議会等に対する意見等あれば前広にお願いしたい。

○各方面の広報誌・新聞等に記事にしてもらい取組をＰＲしたい。

○関係団体等へパイロット事業のみならず、生産性向上のための官民の取組への協力を要請したい。

○今年度のパイロット事業は、関係者の皆様の協力によりフォローの機会を設けたい。